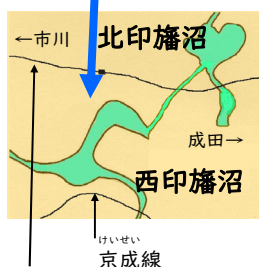


(2) 印旛沼の開たく

つかむ

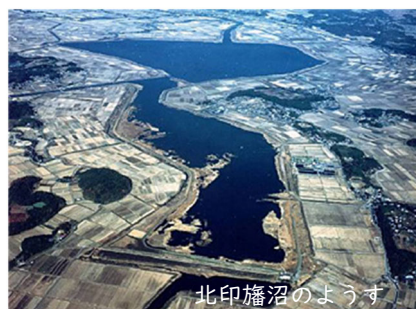


成田スカイアクセス（北総線）

今の印旛沼の写真を見て、気づいたことを話しました。



西印旛沼のようす



北印旛沼のようす

〈写真：印旛沼流域水循環健全化会議HPより〉

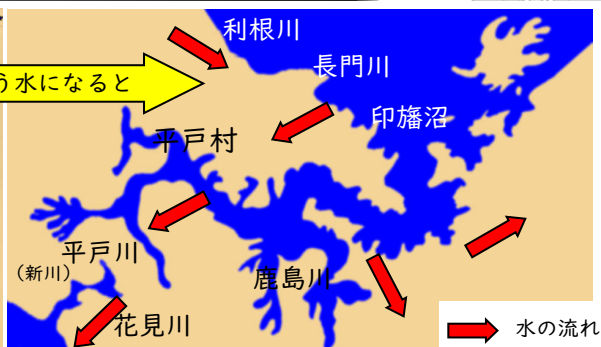
田んぼがきれいに整
び
されてならんでいるね。



今の印旛沼は、きちんと整
び
されていま
す。昔のようすはどうだったのでしょうか。



昔の印旛沼のようす（ふだん）



水の流れ

小屋が沼の水でしずんでいるよ。



水につかった小屋（印西市立印旛歴史民俗資料館）

昔の印旛沼は大雨になると、利根川の水が
逆
流
して、沼の水があふれてこう水になり
ました。そのため“あばれ沼”とよばれ、死
んだ人もいたそうです。はやくみんなが安心
してくらせるようにしたかったそうです。

昔の人たちは、大変だったん
だな。どうやって、今のよう
になってきたのかな？



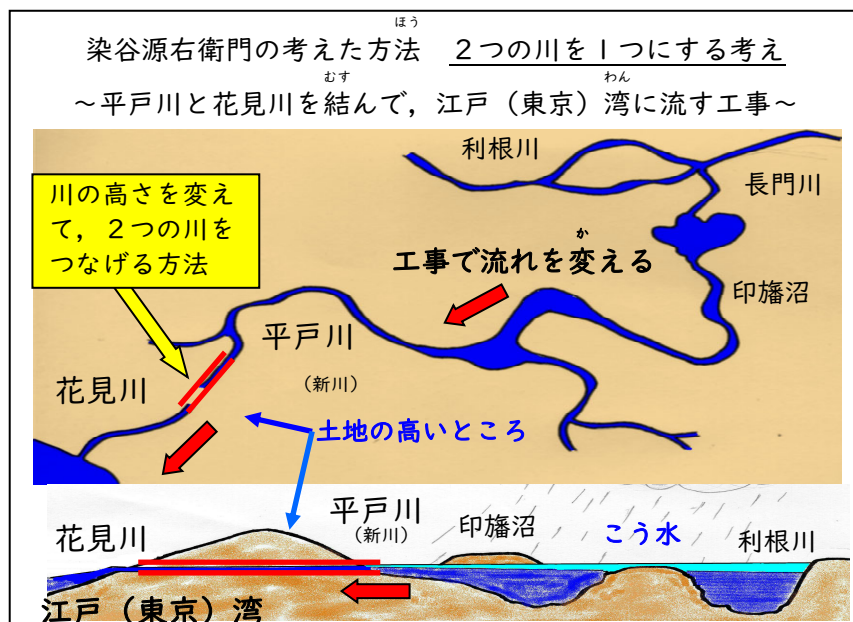
“あばれ沼”とよばれた印旛沼を、昔の人々はどのようにして、開たくしてきたのでしょうか。

しらべよう・みてみよう

江戸時代、平戸村(今の八千代市)の名主で、染谷源右衛門という人がこう水をふせぐ方法を考えました。



染谷源右衛門
(八千代市
商工会議所作成)



名主(なぬし)

江戸時代、村を
担当した村のせ
きにん者（村長の
ような立場）

幕府(ばくふ)

武士を中心とし
た政治のしくみ



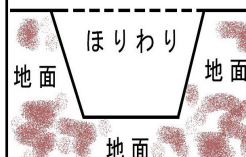
どのようにして工事を進めたのかな？

幕府からお金を出してもらい、足りない分は自分たちのお金を出して印旛沼の開たくに取り組みました。しかし、当時の工事は機械もなく、すべて人の力にたよっていました。

印旛沼のまわりの土はやわらかく、ほりわり工事をするとすぐにくずれてしまったそうです。

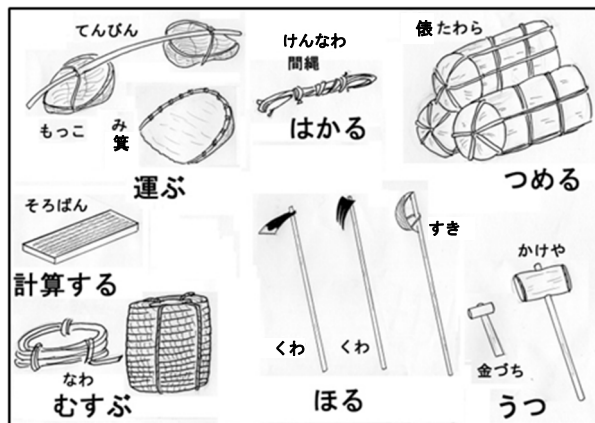


ほりわり
地面をほって水を通
した所↓





はたら 働いている人のようす「続保定記」



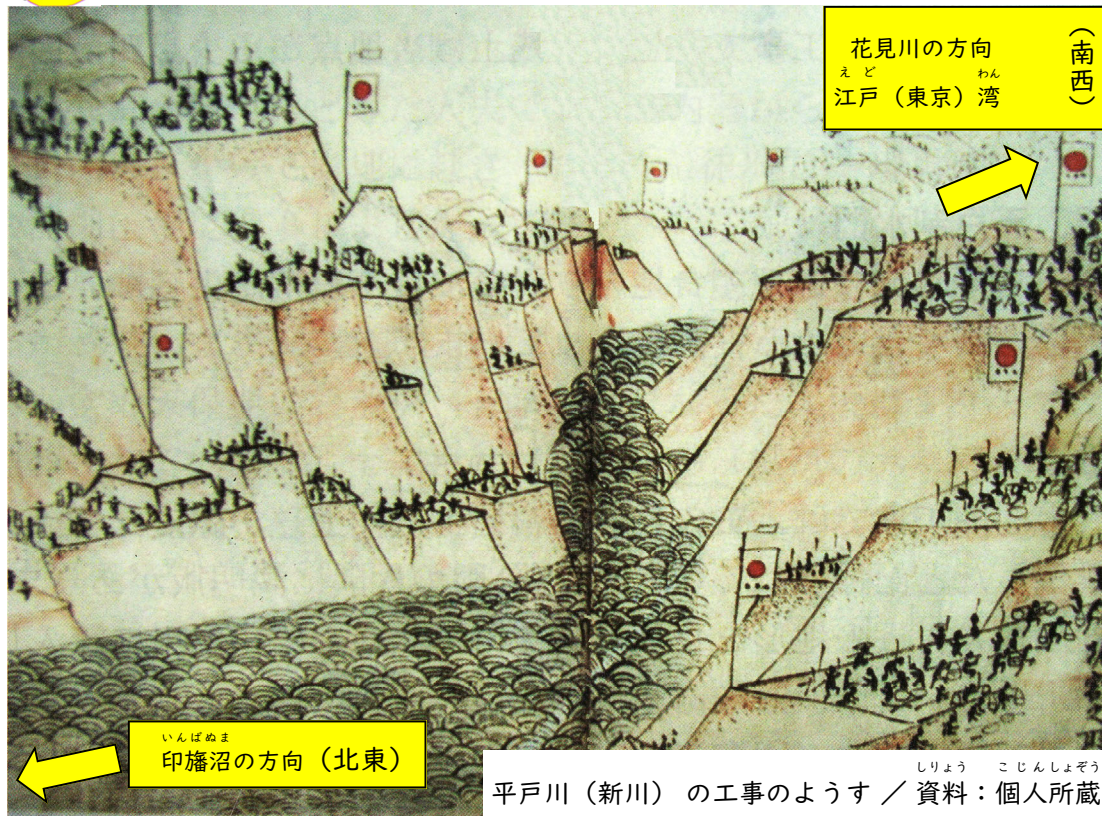
使われた道具



たくさんの人が働いているね。



ほりわりが見えるね。



平戸川（新川）の工事のようす / 資料：個人所蔵

3つの絵を見て、当時の工事のようすはどうだったのか考えてみましょう。

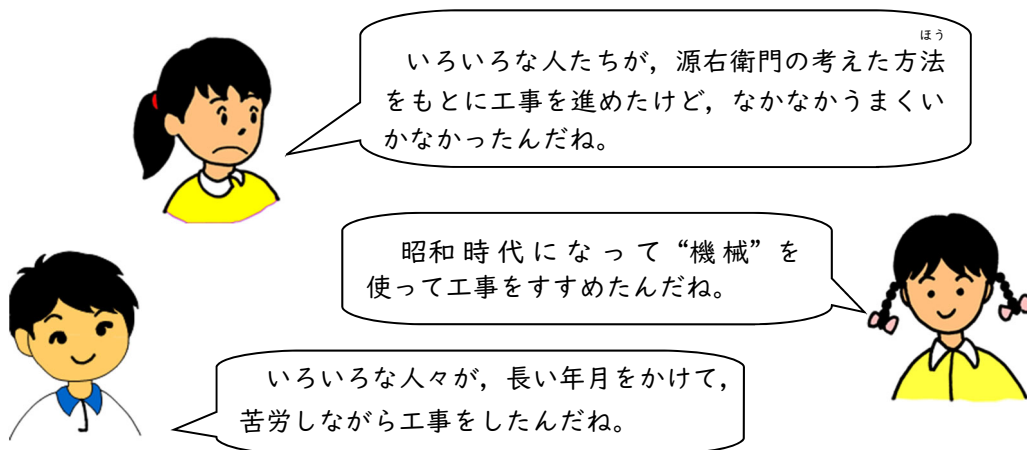
やがて働く人にはらうお金がなくなり、今度は源右衛門自身の田や畑を売りながら工事を進めました。
しかし、とうとうお金がなくなっていまい、工事を中止にしなければいけなくなりました。



印旛沼の開たく年表

年代	ことがら	年代	ことがら
1621年 げんな (元和7年)	とね 利根川などの流れを変える。	1890年 めいじ (明治23年)	明治の前半の最大のこう水が起きる。
1724年 きょうほう (享保9年)	やちよ 平戸村(今の八千代市)の染谷 源右衛門が工事を行った。	1898年 (明治31年)	千葉県知事が県営事業として、 工事を計画する。
1726年 (享保11年)	染谷源右衛門のお金がなくなり 工事が中止になった。	1946年 (昭和21年)	染谷源右衛門の考えをもとに、 国(農林省)が国営事業として工 事をはじめる(機械を使う)
1783年 (天明3年)	染谷源右衛門の考えをもと に、幕府の田沼意次が工事を したが中止になった。		
1812年 (文化9年)	江戸時代の後半で最大のはん らんが起きる。	1969年 (昭和44年)	印旛沼の工事が完成する ※染谷源右衛門の苦勞が240 年後に実った。
1843年 てんぼう (天保14年)	幕府の水野忠邦が5つの藩に 命じて工事をしたが中止に なった。		

「印旛沼の開たく年表」を見て、気づいたことを発表しました。



八千代市立きょう土博物館の人の話

染谷源右衛門は、千葉県の誇るきょう土の偉人です。こう水を防ぐために、花見川と旧平戸川(新川)の2つの川を1つにするアイデアを考えた人と言われています。現在の印旛沼の姿は、源右衛門の考えが生かされており、源右衛門は、「印旛沼開削の祖」とも言える人で、地元の人からも親しまれています。

いんばぬま
今の印旛沼のようす



印旛水門



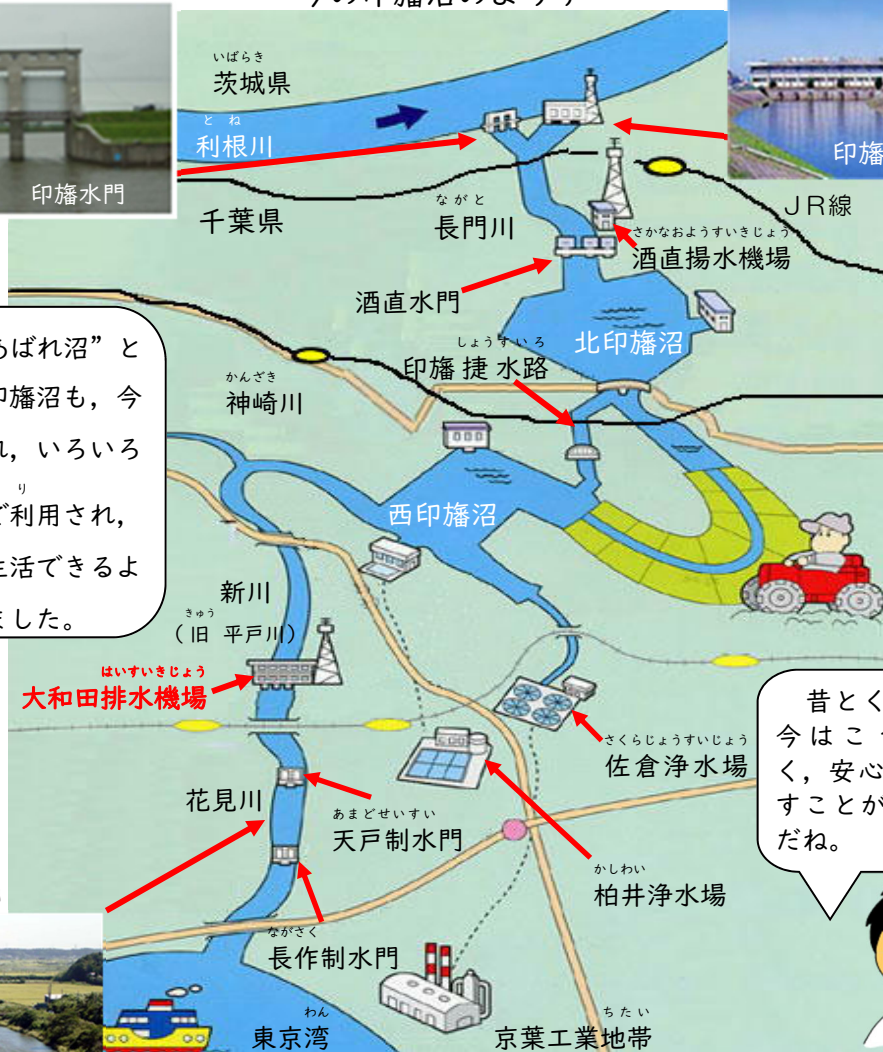
印旛排水機場

昔は“あばれ沼”とよばれた印旛沼も、今は整ひされ、いろいろなところで利用され、安心して生活できるようになりました。



花見川

げんざい
現在の印旛沼はどのように整ひされているのでしょうか。



昔とくらべて、今はこう水もなく、安心してくらすことができるんだね。



しげん きこう そうごうかんりじょ
水資源開発機構・千葉県用水総合管理所の人の話

現在の印旛沼は、大雨で利根川の水位があがり、印旛沼の水を排水できなくなった時は、利根川につながる印旛水門を使って逆流するのを防ぐようにしています。印旛沼の水位が下がらないような大雨の時は、大和田排水機場のポンプを動かし、花見川を通じて東京湾に排水します。これは源右衛門の考えを生かした方法です。

まとめよう・つたえよう・いかそう



わたしは^{そめや}染谷源右衛門に
手紙を書いたよ。

ほうこく

ぼくは報告文を書いたよ。



染谷源右衛門さんへ

4年〇組 ○○○○

.....

印旛沼の開たくの学習をして

4年〇組 ○○○○

.....

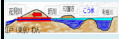


ぼくは、新聞を作ったよ。

しばい

わたしは紙芝居を作ったよ。



染谷源右衛門新聞		発行日〇年〇月〇日 4年〇組 ○○○○	
あばれ沼と たたかった人々	染谷源右衛門 の考えた方法 2つの川を1 つにする考え ～平戸川と花 見川を結ん で、江戸（東 京）わんに流 す工事～ 	米は三年に 一度しかと れない・・	...
たいへんだった 工事	染谷源右衛門さんに インタビュー 		
.....			

染谷源右衛門物語



染谷源右衛門さん以外にも、
千葉県内の文化や地いきの発てんに
つくした人がたくさんいるんだね。

